

テーマ

三笠はひとつ 三笠はならのまほろば

目標

伝統や文化・誇りを再認識させ、新たな郷土愛や誇りを育む。

今年度の取組紹介

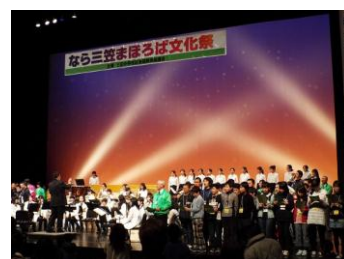
○子ども未来会議

第5回子ども未来会議では『わたしたちの未来～「幸せ」について考えよう～』をテーマに開催しました。各校で前もって学習してきた「幸せ」を地域の大人も含めて交流し合いました。中学生がリーダーとなり司会進行やまとめ役を行いました。校区の小・中学生・中学生・大人が自分たちの未来や、本当の「幸せ」って何かを一緒に考える良い機会となりました。



○なら三笠まほろば文化祭

幼稚園・小学校・中学校・地域の文化交流会を開催しました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、客席からは拍手や声援が送られ大好評で、子どもたちは素晴らしい出会いと感動を感じることができました。また、当日までの準備や広報、運営にも地域の方と中学生が「協働」で行い、大きな達成感を味わえるイベントとなりました。



今年度のまとめ

今年度も、ドッジボール大会により小学校間の交流を深めたり、校区内の幼小中で「ノーメディアデー」キャンペーンや「家族のきずな 三行詩」の取組を実施し、各家庭への働きかけを行ったり、様々な視点で地域の子どもたちへの取組を進めてきました。また、次世代の地域を支える人材を祝う校区成人式も昨年に引き続き実施できたことは非常に意義深いことでした。各事業とも回を重ねコーディネーターの動きもスムーズに行われています。さらに運営も小学校校区ごとに持ち回り、各々スキルアップしています。今年度も、校区内の教職員と地域の合同研修や地域連携に関する会長・副会長の講演の実施など教職員の意識改革を推進していく取組も行いました。これらの事業や日々の活動を三笠中学校のHPで公開し、取組の総括(アンケート結果)なども掲載して、広く情報公開に努めました。

来年度に向けて

今後、これまで取り組んできた5年間の軌道を修正しつつ推進していきます。具体的には、各事業内容をさらに魅力あるものとするため工夫や精選をすると同時に、活動目標に照らし合わせ各事業を共に作っていくという参加者の協働意識を育めるよう取り組んでいきます。また、地域の方も各種団体の委員を兼ねている方が多く、教職員の人事異動も考えると関わる人材の裾野を広げ、幅広い方々に関わっていただけるよう展開していく必要があります。

テーマ

コミュニティの形成と絆づくり

目標

保護者・地域と連携し開かれた学校・特色ある学校づくりを推進する。

今年度の取組紹介

本校は地域教育協議会を『コミュニティ・スクール』の実働組織として位置づけ「学び支援」「育ち支援」「地域連携」「評価」の四つの部会を組織しています。部会は、学校の教育目標を学校・家庭・地域で共有し、組織的・機能的に運営していくことで職員、保護者、地域の協働意識を高めるとともに、生徒の抱かえている課題をそれぞれの立場で把握し、具体的な活動に取り組み課題の解決に努めています。教員の授業づくりの時間確保のため、部活動支援、放課後や土曜日などの課外授業から、キャリア教育・道徳など教育課程内にも支援を広げています。さまざまな実社会での経験を持つ大人が工夫をこらした授業を展開することにより、子どもだけでなく教員も課題解決力の向上や、明確な教員としての目的意識・責任感を養うことにつながってきました。また、防災訓練や地域まつり・清掃活動に参加し、地域の方々との活動を通して、社会性やコミュニケーション能力を育み豊かな人間性を培ってきています。



特に高校受験に向けた面接の練習として、企業勤務経験者などの地域住民が面接者となり、高校進学だけでなく勤労観・職業観を養い社会自立をしていくことに対する目的意識を持たせることにつながっています。3回目となるスポーツフェスティバルも地域・小中教員の交流を深め、地域住民・小中PTAネットワークを高め、地域プライドの醸成を図りました。

今年度のまとめ

全教職員が小学校区に分かれた「地区担任」の組織化を図ることにより教職員の意識が高揚しました。また、地域人材の依頼と調整や家庭・地域・関係機関団体との情報連携のネットワーク化の充実・強化にもつながりました。地域では、「地域の子どもに対する関心が深まった。」「学校以外でも地域のために何かやってみたいと考えるようになった。」「生活に張り合いができた。」などの声上がり、学校行事に対しても保護者だけでなく地域住民、地域団体も積極的に参加するようになりました。

来年度に向けて

これまでの組織や活動内容を大きく変えることなく、その力を活かしていきたいと考えています。そして、学校や子どもたちのために活動することを通して『みんなが育つ』ための核となる組織を目標としています。

テーマ

世界にはばたく 世界で生きる 椿井っ子

目標

地域の教育力を活かし、特色ある教育活動を創造する。

今年度の取組紹介

奈良市の中心部に位置、多くの社寺や観光名所が校区内にある本校は、長い歴史と伝統を有する学校であり、地域の方は愛校心が強く、また、学校教育に対する関心も高いです。そのため、何事にも協力的です。こういった素晴らしい環境や地域の教育力を生かし、自分たちのまちに誇りをもつとともに、積極的に活動し、表現や発信のできる児童の育成をめざして取組を進めました。

活動としては、地域の高齢者の方に来ていただき、こま回しやおはじき、羽根つきなどの昔遊びを教わったり、大根などの野菜をいっしょに育てたりする活動を行いました。遊びをいっしょに行うことで、地域の方の優しい思いにふれることができました。また、校区に田んぼや畑を見かけない本校の子ども達にとって、土に触れ、野菜を育てる活動を地域の方に手伝ってもらいながら行えることはたいへん教育的効果のある活動でした。他にも、筆作りや利き茶体験など、地域に昔からつたわる文化について、ゲストティーチャーを招き学習を深めることもできました。

7月に実施される「つばいまつり」では、地域で子どもを育て、地域につながりをより強くするために、自治会をはじめ各団体と学校が協力して、椿井小学校を拠点とした地域のお祭りとして、今年で3回目を迎えた。地域・保護者・学校が一つになり、素敵な夏の思い出として多くの子ども達の心に残りました。



今年度のまとめ

本事業をとおして、子ども達が、多くの人たちとの関わりから、自分達の住んでいる地域の素晴らしさを再発見することができました。また、地域の方々との交流を通して、一つ一つの事象や歴史に、その時々関わった人の思いがあることに多くの子ども達が気付くことができました。

自分の身近にいる地域の方々とともに行う体験的な活動を行うことは、単に知識を得ることにとどまらず、地域に暮らす人々の心情や願いを感じることができる活動となりました。

来年度に向けて

事前の準備や打合せに時間を要することが課題です。計画的に進めていこうとしていますが、他の業務や事務処理も行っており、事業の推進を効率的に進められていないため、工夫が必要です。

本年度の成果をふまえ、継続して行う事業は工夫し、子ども達にとってよりよい内容のものを考えていきたいと思います。また、地域の中からも、新たに協力したいという声もありますので外部人材の発掘も含め、本校の教育目標の達成を図れるようにしたいと思います。

事業名

地域とスクラム、学びが深まり、

目 標

健やかな心と体が育つ大宮アクション

健やかな心身を育み、最後まであきらめずにやり遂げようとする力と、自他の命だけでなく、命あるものを大切にしていこうとする心情をもった児童を育てる。その上で地域の人々とのふれあいを深め、人としてのものの見方、考え方を学ぶとともに、生まれ育った「大宮のまち」に誇りをもてる児童を育成する。

今年度の取組紹介

- ＜第25回 大宮まつり＞ 「子ども盆踊り」や地域の方とともに遊んだり、お店で買い物をしたりして祭りに参加して、地域の人たちとふれあいました。
- ＜ふれあい昼食会＞ 地域の高齢者を招いて、6年生と共にお話をしたり、遊んだり、カレーを食べたりして交流を図りました。
- ＜大縄大会＞ 3分間で大縄を何回飛べるかを競うクラス対抗戦チームワークの獲得により心が育ちました。
- ＜健康かけ足＞ 一人一人が自分の目標を決めて、自分の限界に挑戦しました。
- ＜お話しの会＞ 学期に一回、お話し会の方に読み聞かせをしてもらうことで、豊かな気持ちが育ちました。
- ＜ガンバ読書＞ 週二回、朝10分間全校一斉の読書タイム。豊かな心、優しい気持ちが育ちました。
- ＜ソーラーランタン作り＞ 環境教育としてソーラーランタンを作り、自然の大切さを学びました。
- ＜人権講演会＞ 地域の方たちと一緒に人権について考え、人権意識を高めました。
- ＜図書ボランティア＞ 図書室の環境を整えたり、図書の修理をしたり、子どもたちの読書環境を整えることができました。
- ＜学校園応援サポーター＞ 2年生の「地域の名人さんに学ぶ」学習・戦争・昔の大宮・家庭科のホットケーキ、ミシンのお手伝いなど子ども達の学習の支援を行いました。



今年度のまとめ

地域の人々との交流や協働からは、自分は多くの人とのつながりの中で生きているということ、今の自分にできることは何かということに気付き、考え、行動する児童の育ちが表出してきました。

特に高学年では、高齢者の方々とのふれあいを通して、自分も人に喜んでもらえることができること、喜んでもらえることは自分の幸せにつながるということに気付くとともに、自分もこの大宮の地域の一員であり、自分が地域のためにできることを考えていこうとする意識が芽生えたように思います。

来年度に向けて

児童がアイデアを発信し、企画などに参加・参画していく手立ての追求が大きな課題です。地域の人に支えてもらっていることに感謝をしつつ、自分たちができることを考え、行動できる児童を育てたいと思います。そのためには、さらに地域の方と一緒に活動する場面を多くし、もっと子ども達が地域の方々を身近に感じられるようにしていきたいです。

テーマ

地域で学び 地域から学び 地域に働きかける 大西っ子

目標

**「わたし大好き あなた大好き 学校大好き わが町大好き」
と思える児童の育成**

今年度の取組紹介

※佐保川・自然環境をテーマにした学習を学年に応じた形で取り組みを進めています。2年生の町探検では市の施設や県立図書情報館での学習、3年生は講師を招いて佐保川の環境や生物の学習を展開し、ビオトープ（蛍の里）を通し継続的な学習の場として自然を深く学ぶ取り組みをしています。5年生では



世界遺産学習・森林学習を通し環境学習を深めています。6年生では「川辺のまちづくり」への参加や下学年への指導を通し地域への所属感や学校のリーダーとしての自覚を育てることができました。※地域行事では2年生が「年長者の集い」に参加し年長者の方に歌を披露し感謝の気持ちを伝える場になっています。6年生は「川辺のまちづくり」に参加し、雅楽や自分たちで作った歌などを披露し、地域の一員として参加することができました。地域の行事に参加し、地域への所属感を高め、自分たちもまちづくりに参加していることを実感できる一場面でした。

※ここ数年続けている雅楽体験の取り組みを今年も実施することができました。南都学所の講師の先生に5年生が指導を受け笙・龍笛など和楽器の演奏に取り組むことができました。子ども達は体験を通して、雅な音色にふれ、古の奈良を体感することができ教え合い伝え合い、次の学年へとバトンをつなぐ学習に定着してきました。また、生産体験的学習や家庭科の学習において講師やボランティアの協力を得ながら学習効果をあげることができました。図書ボランティアや「お話の会」を毎学期開催し読書活動を充実させることができました。クラブ活動においては、地域の方々の協力により、初釜の体験やマジック大会等本格的な楽しい活動を保証することができました。



今年度のまとめ

「子どもの力を付ける事業」「地域と共に学ぶ事業」「環境整備事業」の三つの事業を中心に取組を進めてきました。環境教材・資産に恵まれた地域です。また、学校を中心に地域の方々が学校を支援していただく協力体制も整っています。そんな環境の中で子ども達が本物にふれる経験や体験的な活動を通して豊かな感性を育み、地域に生きる子ども達を育成することを目指しています。校区は、地域の行事も多く児童が地域行事に参加し、地域の協力を得ることにより自分たちの住む地域の理解を深めることができました。地域への所属を感じ自分の存在感を高める活動につながりました。また、地域の教育環境・人材を整理し、発掘することができました。

来年度に向けて

地域の人材の高齢化により、ボランティアの再募集などを考えていかなければならない時期にきています。保護者へ参加の呼びかけや新しい人材の確保が課題となっています。また、地域行事や中学校区の取り組みも活発であり、学校行事との兼ね合いを考えながら、効率よく学習活動を展開できるように時期や参加体制を調整し、充実させていきます。

テーマ

佐保川小の校区を愛し、

校区に誇りをもつ子の育成

目標

地域にある自然環境や文化的歴史遺産、また地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物だけではなく、佐保川地区を愛する子どもを育む。

今年度の取組紹介

① 保川清掃



5月18日（土）子どもたちと地域の各種団体合計300人以上が参加して、佐保川のゴミ拾いや草刈りを行い、「佐保川」の環境を守る活動として、地域の人と協働で取り組んだ「佐保川清掃」、生きた学習環境を提供してくれる「佐保川」をみんなで大切にする地域の方々との気持ちをつなげる大切な取組でした。

② 地域の人から学ぶ

学校の近くの田で行われる「田植え・稲刈りの体験活動」

地域の方々の協力で、春の田植えと稲刈りの体験をさせてもらっています。

できた餅米は、「もちつき大会」に使用し、地域に住む一人暮らしのお年寄りにも配りました。



今年度のまとめ

裸足で取り組む田植えでは、ぬるぬるした土の感触を楽しむことができました。また、地域の保育園や高校生と一緒に演奏する「水辺のコンサート」は保護者だけではなく、地域の方からたくさんの拍手をいただきました。地域と結びついた事業が根付き、地域の活動が子どもたちの生活の中にしっかりと息づいてきていることが伺えます。地域行事へのあこがれや誇りのもてる活動を今後ともしっかりと続けていきたいと思っています。

来年度に向けて

様々な教育課題を抱えながら日々の実践を重ねている中で、地域の方々が多くの子どもたちの活動を支援していただいています。来年度より本格的にコミュニティースクール・小中一貫教育が始まります。中学校区の小学校・保育園・幼稚園そして、地域の各種団体との連携を密にし、さらに地域を愛する心、地域を誇りに思う心を育て、この地域を引き継いでいく将来の力となるよう現在行っている取組を大切にしていきたいと思っています。

テーマ

育ち合おう！感動いっぱい幼稚園

目標

「明るく、優しく、たくましく生きる子ども」を目指して**今年度の取組紹介****【音楽環境の充実を目指す】**

- ・『二胡の演奏会』『地域の皆さんによるコーラス、ハーモナイズ』『大学生によるアンサンブル演奏会』『ソプラノ独唱』などの生演奏を聴いたり、実際に楽器に触れたりする機会を多く取り入れ、幼児や保護者も共に鑑賞しました。また、子ども達が演奏に使う木琴やマラカスの購入なども行い、遊びや音楽会で活用することができました。

**【奈良の伝統文化に触れる機会を持つ】**

- ・西方寺さんにお茶会に招いていただき、茶道の体験をさせていただいたり生け花を見せていただいたりしました。地域の方の指導を受けて日本の伝統文化に触れ、豊かな学びができました。
- ・地域のゲストティーチャーを招いての『おはなしの会』では、子ども達が生き生きと目を輝かせてお話に耳を傾けていました。『生け花体験』では、幼児の感性を大切にしながら一人一人にいていねいに指導していただき、地域の教育力が生かされていました。

【園内の環境整備に努める】

- ・幼児自らが遊びを創り出していける環境づくりを目指して、鳥小屋のリフォームを行いました。地域の方の指導のもと、掃除、板張り、ペンキ塗り、絵を描くなどいくつかの工程を経て完成しました。おうちごっこなど友達とのかかわりが深まりました。

**今年度のまとめ**

- 音楽環境の充実を目指す、という取り組みは2年目であり、子ども達は耳を澄まし聴く力が育ち豊かな表現へとつながり、継続の効果を感じます。日常の遊びや音楽会、生活発表会にもそれらは現れ、保護者にも見たり聴いたりしていただく機会も持つことができました。
- 地域や保護者の方々の協力を得て、どの活動も幼児にとって感動的であり、心を育むことにつながりました。友達、地域の方、保護者と共に育ち合えたと感じられます。

保護者からの感想の中には、生け花やお茶会、生演奏を聴く機会など、様々な貴重な経験を行うことができ感謝しています。様々な人々の触れ合いは良いことでうれしいなどの意見が聞かれています。

来年度に向けて

音楽環境の充実に加えて英語の楽しさが味わえるような活動や、体力づくりの充実を目指すような内容のものを地域の方々の教育力を生かし、ご指導とご協力を受けて活動を進めていきたいと思っています。

テーマ

わたし大好き あなた大好き 幼稚園大好き わが町大好き 大西っ子

目標

幼児が様々な環境（ひと・もの・こと）と出会い、触れ合いを通して、心を動かす感動体験を重ねることで、感性豊かでたくましく生きる幼児を育てる。

今年度の取組紹介

今年度、新たな取組として実施した「お話の会」は、子どもたちが絵本や物語などに親しみを感じ、絵本との出会いが充実していくことが豊かな心情の育成につながると考え、絵本を増やすなど絵本の環境整備を行ってきました。読書ボランティアによる手作りペープサート、各クラスでの絵本や紙芝居の読み聞かせで、子どもたちはお話の世界に引き込まれ、目を輝かせ、わくわく、ドキドキ、想像をする楽しさを味わっていました。表現力や話を聞く態度も育ってきました。

地域の方々とグラウンドゴルフをしてのふれ合いは、心温まるよい機会になっています。この活動を通して、保護者も地域の良さを知り地域の方と顔見知りになりつながりが広がりました。



今年度のまとめ

地域の人たちとのかかわりを積み重ねてきた様々な体験活動を通して、地域の方々の温かい人柄にふれ、子どもたちは、思いやりや親しみ・信頼感を感じ、意欲的に活動に取り組む姿が見られました。また、遊びながらルールや遊び方を教えてもらうことで規範意識が芽生えてきました。様々な人のかかわりの中で、人とかかわる力や相手に対して思いやりの心が育ってきました。子ども同士、保護者同士、地域の方とも会話やつながりが広がっています。

絵本や物語との出会いが充実したことで、子どもたちは、自分の思ったことや感じたことを話すなどコミュニケーション力が育ってきました。またイメージを広げ、想像力も豊かになってきました。保護者より、「絵本が好きになり、貸出図書を利用するようになった。」「読み聞かせをして、親子で絵本を楽しむ機会が増えた。」などの感想をいただきました。

来年度に向けて

保護者や地域とのつながりをもった感動体験を豊かにする取組は今後も大切にしていきたいと思っています。26年度に引き続き、保護者や地域の教育支援を活かした体験活動を計画的・継続的に実施し、子どもたちの豊かな感性やたくましい心と体を育んでいきたいと思っています。